



戸田ヶ原 リポート

オギの穂が風に揺れ、秋の訪れを感じることができるようになりました。戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、秋を彩る草が次々と花を咲かせ、実やたねをつけています。今回は9月から10月の1号地の様子についてお知らせします。



みなさんと背の高い草を刈り取りました



9月18日に、チェリークラブをはじめ戸田ヶ原サポーターの方々と、秋の草花に太陽の光があたるように、1号地の一部の背の高い草を刈り取り、運び出しました。ノハラアザミなどの株はずいぶん大きくなってきました。作業にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

川べりなど湿った場所に生え、夏から秋にかけて花を咲かせます。ベニシジミが花に訪れ、蜜を吸っていました。



カントウヨメナ

「秋の七草」のひとつとして、古くから日本人に親しまれてきた花です。川岸などの湿った場所に生えます。



フジバカマ



イヌタデ

園路沿いで紅色の花が目立っていました。粒状の花をこそぎ取って、赤飯に見立ててままごとに使っていたことから、アカマンマとも呼ばれます。

昨年植えたハンノキの高さが 1mを超えました

かつては戸田市内でも見られたミドリシジミ。このチョウがくらせる環境を再生しようと、彩湖・道満グリーンパーク内に、幼虫が葉を食べるハンノキや成虫が吸蜜するアカメガシワなどの木を植えています。2011年12月にイベントで植えたときには40cmほどだったハンノキの苗木がぐんぐんと大きくなり、高さが1mを超えるまでにりました。



チョウジソウ便り

11～12月の手入れについて

朝夕の気温が下がり、チョウジソウは、黄色く色づいた葉を落とし始めました(写真)。地上部は枯れていきますが、根は生きています。チョウジソウの鉢は半日陰に置いたまま、水やりを続けてください。



チョウジソウのお話④

チョウジソウは、地下部に栄養を蓄えて、その場所で何年も続けて生きることができる植物(多年草)です。最初に花が咲くまでに2年以上かかります。みなさんに育てていただいている株も、今年の春に芽を出し、秋にかけて伸ばした葉で栄養をつくり、その栄養を根に蓄えた状態です。

『みんなでミドリシジミの林づくり』の参加者募集

ミドリシジミがくらせる環境を再生するために、タネから育てたハンノキの苗木を植えます。チョウについてのミニレクチャーもあります。ぜひ、ご参加ください。

- 日時 ● 12月1日(土)10:00～11:30 荒天の場合は12月2日(日)に延期
 集合 ● 彩湖・道満グリーンパーク 中央駐車場 定員 ● 30名 参加費 ● 無料
 服装 ● 長袖、長ズボン、汚れてもいい靴、帽子、軍手 持ち物 ● タオル、飲み物
 申し込み受付期間 ● 11月1日～11月29日
 申し込み・問い合わせ先 ● 戸田市公園緑地課048-441-1800(内線348)



JR埼京線またはJR武蔵野線
 武蔵浦和駅より「下笹目行」バス乗車
 「彩湖・道満グリーンパーク入口」
 下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より
 tocoバス美笹循環乗車
 「道満」下車徒歩8分

